

TAD

TAD-M600
MONAURAL POWER AMPLIFIER






OWNER'S MANUAL

「据付工事」について

- ❗ 本機は十分な技術・技能を有する専門業者が据付けを行うことを前提に販売されているものです。据付け・取付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。
- ❗ 据付け・取付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。
- ❗ 本機は大型で重量が有りますので、持ち運びや開梱、取り付け作業は必ず4人以上で行ってください。




安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。





<p>この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。</p>	<p> 警告</p> <p>この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>	<p> 注意</p> <p>この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
<h2>絵表示の例</h2> <p> 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。</p> <p> 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。</p> <p> 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。</p>		





警告

異常時の処置





-  ● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
-  ● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
-  ● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置








-  ● 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して感電や発熱による火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。
-  ● 電源プラグは、根元まで差し込んでみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
-  ● ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
-  ● 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

-  ● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
-  ● 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとってください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
 - あおむけや横倒し、逆さまにする。
 - 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - じゅうたんやふとんの上に置く。
 - テーブルクロスなどをかける。
-  ● 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。
-  ● 本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用環境








-  ● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
-  ● 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
-  ● 表示された電源電圧（交流 100 ボルト 50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
-  ● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法




-  ● 電源プラグを抜くときはプラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
-  ● 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
-  ● ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
-  ● 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
-  ● 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
-  ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。
-  ● 雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

注意



設置

-  ● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
-  ● 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
-  ● 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。
-  ● 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
-  ● オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のケーブルを使用してください。
-  ● 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
-  ● 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

使用方法

-  ● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
-  ● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。
-  ● 旅行などで長期間ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

保守・点検

-  ● 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。
-  ● お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本機の使用環境温度範囲は5℃～35℃、使用環境湿度は85%以下(通風孔が妨げられていないこと)です。
風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光(または人工の強い光)の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c_Ja

安全上のご注意.....	2
はじめに	6
主な特長	6
お使いになる前に.....	7
付属品の確認	7
各部の名称とはたらき	7
設置と接続	8
設置	8
設置のしかた.....	8
スパイクの高さ調整のしかた.....	9
接続.....	10
プリアンプとの接続.....	10
バイワイヤリング接続	11
スピーカーシステムの接続	12
電源コードの接続.....	13
演奏するには	14
電源を入れる前に.....	14
演奏方法	14
保護回路について.....	14
故障かな?と思ったら	15
仕様.....	16
保証とアフターサービス	17
TAD-M600 のお手入れ	18

はじめに

所有する喜びと誇り、聴く喜びと感動のために

「TAD」という名称は“Technical Audio Devices”の頭文字から命名されました。これは、1975年にパイオニア（株）において最高級スピーカー開発プロジェクトの発足時、技術顧問として参画し、当時USAプロオーディオ界の第1人者であった故バート・ロカンシーの「基本的に忠実な技術こそ本物の技術であり、技術志向に傾くことなく、常に音質を最重視する技術こそ本物の技術である」という理念に基づき、“綿密な理論検討と正確な実験に裏付けられた工学的アプローチ”の手法を表現したものです。

自らのスピーカー理論を実践するための新境地を見出したバート・ロカンシーと、その思想と哲学を受け継ぐエンジニアたちの、決して妥協を許さぬ技術への探究心が、「TAD」という存在そのものなのです。

この「TAD」の意思を受け継ぎ、TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC. は設立されました。

私達は、当社の持つ最高の技術で皆様へ聴く喜びと感動を提供していきたいと考えています。

主な特長

対称性 Duallogic-Circuit Technology

スピーカーの振動板を正確にドライブするためにはボイスコイルを流れる正負の電流経路が完全に対称である必要があります。回路方式、電源回路、構造面において、この対称性にこだわり、完全バランスを目指しています。

振動制御技術 Vibrate-Absorber Technology

シャーシに共振しにくい素材である鋳鉄を採用することや、スパイクは点支持アジャスタブル構造とすること、トランスとシャーシの間に10mm厚アルミニウム制振板を使用することで、振動制御品質を向上させています。

低重心構造 Lower Weight-Balanced Frame

モノコックシャーシには、質量35kgの鋳鉄を採用し、大質量による安定した土台を構成しています。また、シャーシの脚部の位置を製品の外側に配置したワイドトレッドシャーシ構造にすることで、相対的な重心を更に下げることが可能になりました。

定格出力 600 W/4 Ωの駆動力

高域特性の優れたマルチ・エミッター・トランジスタを、5パラレルで構成したプッシュプル増幅器をバランスアンプ接続することで、600 W/4 Ω、300 W/8 Ωの出力を余裕を持って実現しています。

大容量電源

EI 133 × 85 サイズの大型電源トランス2基と、33 000 μF × 4による大容量フィルタコンデンサで構成する強力電源で、大出力時でもスピーカーを忠実にドライブします。

保護回路について

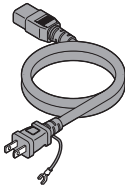
スピーカー端子のショートや過負荷、不測の事態による異状発熱が発生した場合、保護回路が働きます。この回路が作動するとアンプの電源をオフにして発熱を止めると同時に、電源インジケータの点灯色により事故を知らせます。この保護回路の働きによりアンプとスピーカーの損傷を防ぎます。

お使いになる前に

付属品の確認

アクセサリボックスの中に、以下のものが入っていることを確認してください。

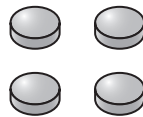
- 電源コード× 1



- 六角レンチ× 1

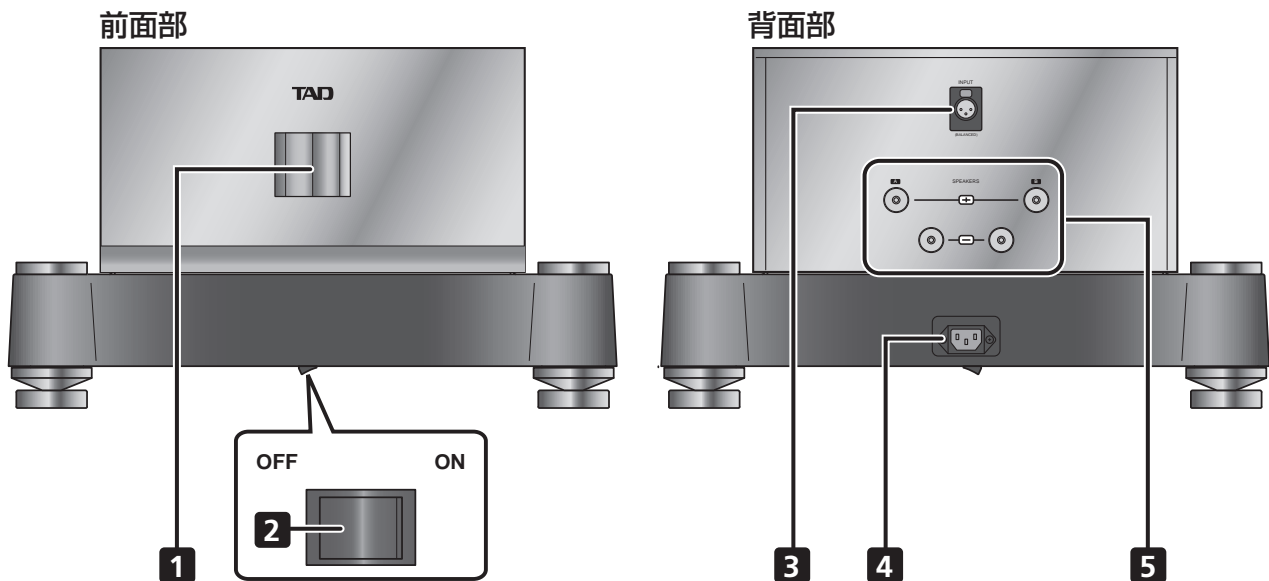


- スパイク受け× 4



- スパイク受けテンプレート× 1
- オーナースクラブ登録カード× 1
- 個人情報保護シール× 1
- 保証書× 1
- 取扱説明書（本書）

各部の名称とはたらき



1 電源インジケータ

電源 (POWER) のオン状態を示します。赤色点灯中は、起動処理、または異常状態を示します。黄色点灯中は、動作可能状態を示します。

電源インジケータが黄色から赤色の点灯に変わった時は、電源スイッチをオフにして「保護回路について (14 ページ)」をお読みください。それでも原因が分からないときは、パイオニアカスタマーサポートセンター TAD 相談窓口にご連絡ください。

2 電源スイッチ

電源 (POWER) のオン / オフを行います。右側を押し上げると電源オンし、左側を押し上げるとオフします。

3 バランス入力端子 (BALANCED)

プリアンプと接続します。

4 AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

5 スピーカー端子

スピーカーインピーダンス 4 Ω ~ 16 Ω のスピーカーを使用できます。

⚠ 注意

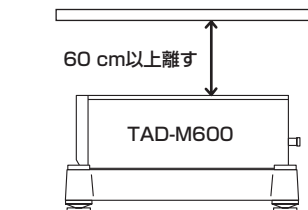
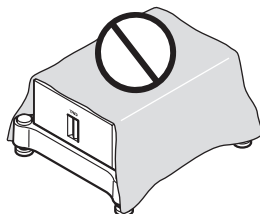
電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ (遮断装置) を抜く必要があります。本機を電源コンセント近くに設置し、電源プラグ (遮断装置) に容易に手が届くようにしてください。

設置と接続

設置

警告

- TAD-M600 は大型で重量がありますので、持ち運びや開梱、取り付け作業は必ず4人以上で行ってください。
- 設置する場所はこの重量に十分耐えられる強度を持つ、安定した水平・平面な場所をお選びください。倒れたりして、事故の原因になります。弊社では、床に設置することをお勧めします。棚などの上に置く場合は、必ず強度の確認を行ってください。
- 放熱のため、TAD-M600 の上に物を置いたり、布やシートなどをかぶせた状態でのご使用は絶対におやめください。異常発熱により故障の原因となる場合があります。



注意

本機を設置する場合は、放熱をよくするために、本機の天面から 60 cm 以上、背面から 10 cm 以上、側面から 30 cm 以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

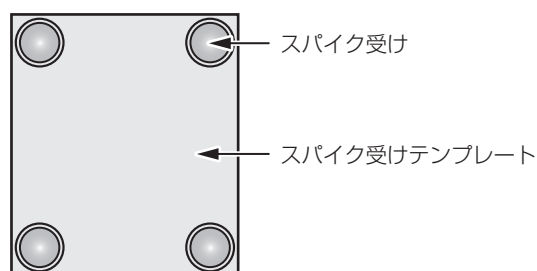
注意

- TAD-M600 は発熱量が多いので、冷却用の空気流入を妨げるじゅうたんやクッションなどの柔らかな物の上に置いたり、狭い場所には置かないでください。

設置のしかた

音質向上および床など設置面へのキズつきを避けるために、付属のスパイク受けをご使用ください。

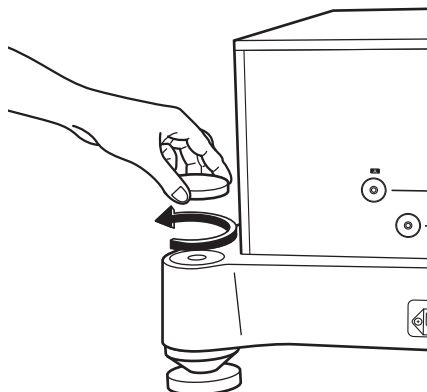
1. **スパイクが載る設置場所に、あらかじめ付属のスパイク受けを 4 カ所置いておく。**
付属のスパイク受けテンプレートを敷き、テンプレートに合わせるようにスパイク受けを置くと正確に設置することができます。



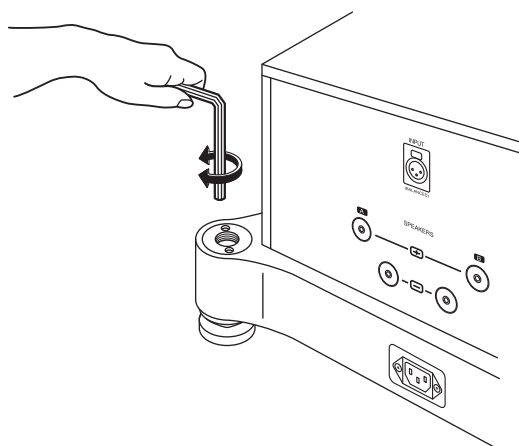
2. **スパイク受けテンプレートを外し、TAD-M600 を置く。**
スパイク受けを動かさないように注意しながら、スパイク受けテンプレートを外してください。

スパイクの高さ調整のしかた

1. 下図のように、TAD-M600 の右後方の脚の上部についているカバーを外す。



2. 付属の六角レンチを差し込んで回し、TAD-M600 の設置にガタツキが無いように調整する。



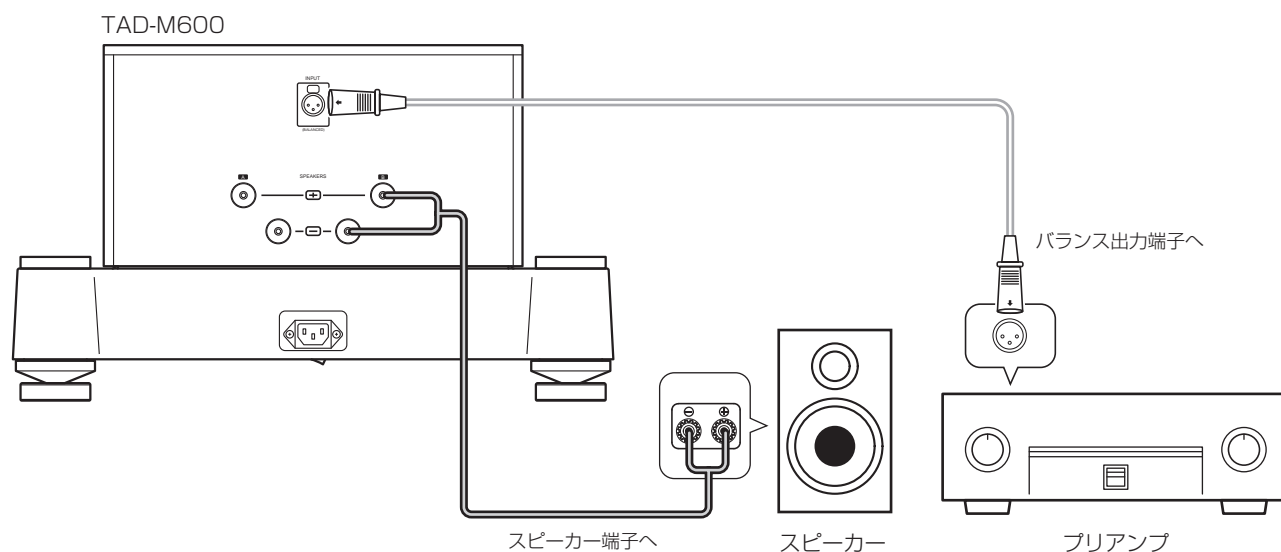
3. 手順 1 で外したカバーを閉める。

接続

⚠ 注意

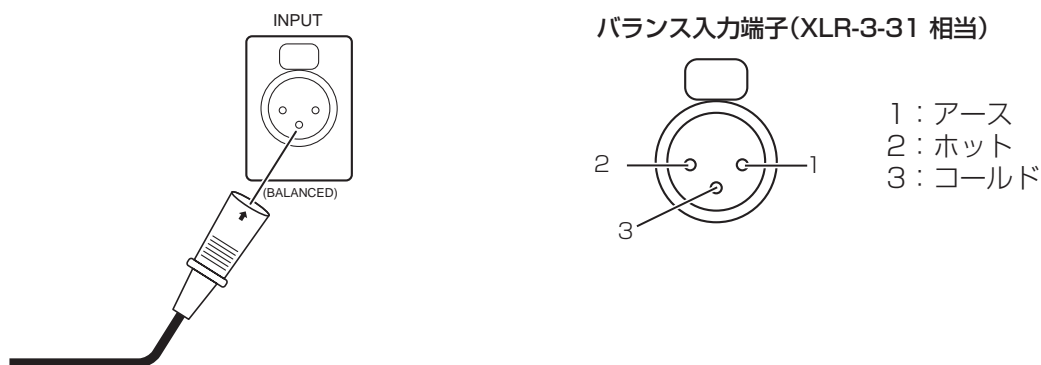
- TAD-M600 および各コンポーネントの電源スイッチは、接続がすべて終わるまで、オンにしないでください。

スピーカーは接続の前に配置しておくことをお勧めします。接続には市販のスピーカーコードをご使用ください。機器の接続を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。



プリアンプとの接続

市販のバランス型 XLR プラグ付きケーブルを使用して、TAD-M600 のバランス入力端子とプリアンプのバランス出力端子を接続します。

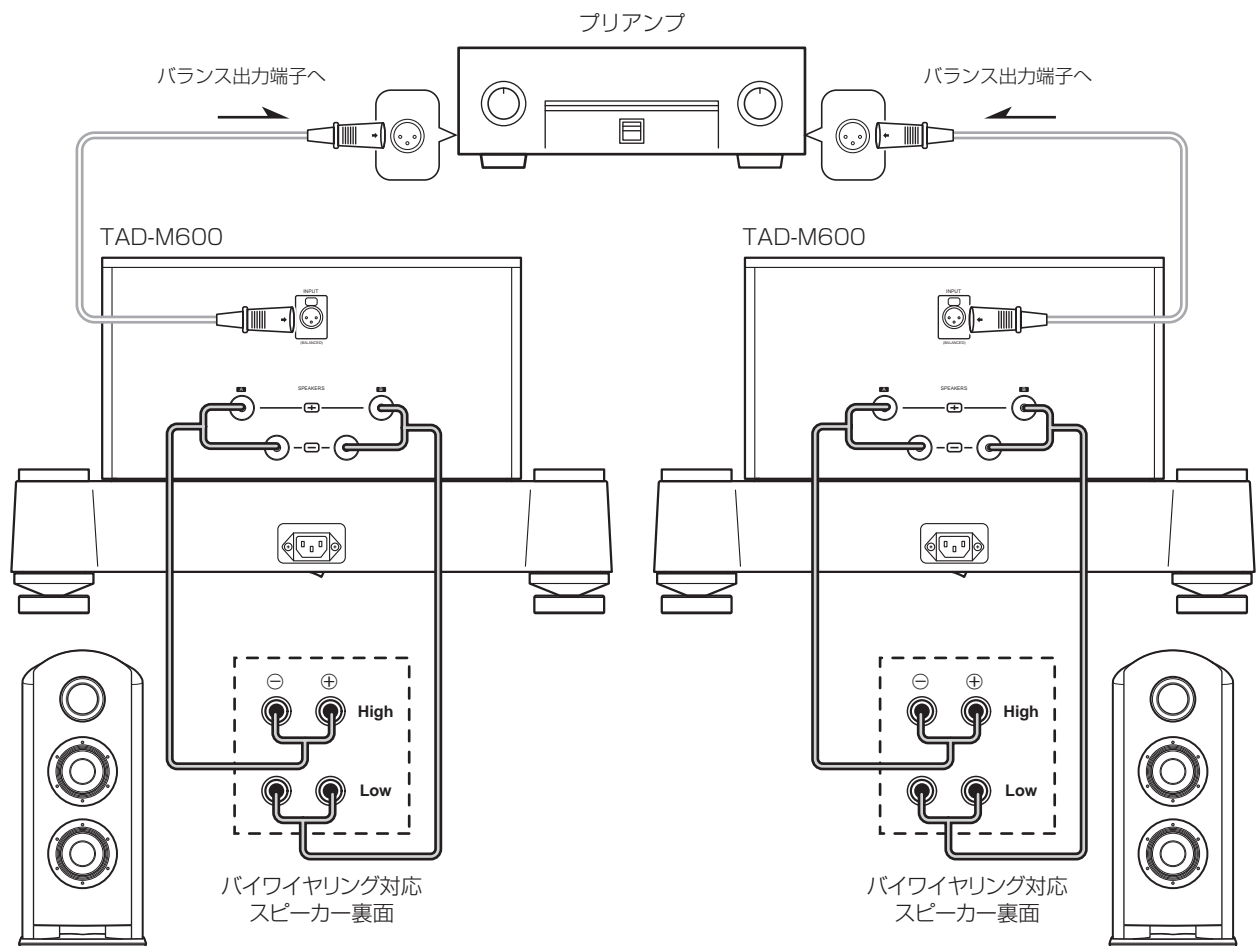


バイワイヤリング接続

バイワイヤリング接続は、1 台のアンプから 2 組のスピーカーコードを使って、スピーカーの低音用入力端子および高音用入力端子に接続する方法です。

バイワイヤリング接続を行うときは、バイワイヤリング対応スピーカーを接続する必要があります。High と Low を合わせて正しく接続してください。

【バイワイヤリング接続端子付スピーカーシステムを使った接続例】



メモ

スピーカー端子 A とスピーカー端子 B の出力は同じです。High/Low は A/B のどちらとも接続できます。

注意

- スピーカーのバイワイヤリング接続をするときは、アンプへの悪影響を防ぐため、スピーカーに付属されている High-Low のショート金具は必ず外してください。詳しくはスピーカーの取扱説明書をご覧ください。

スピーカーシステムの接続

⚠ 注意

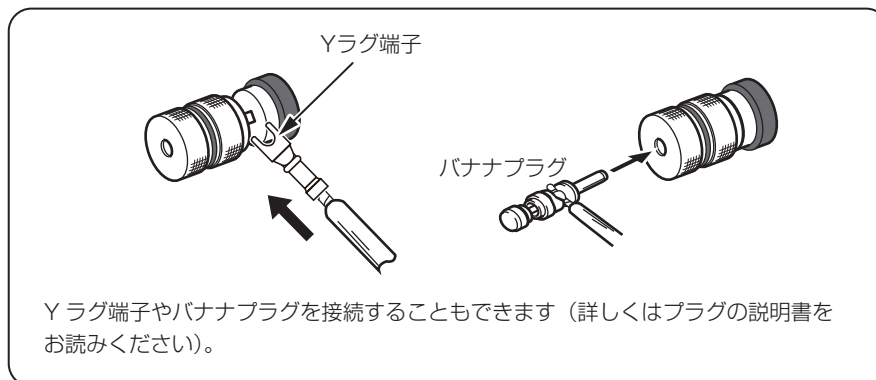
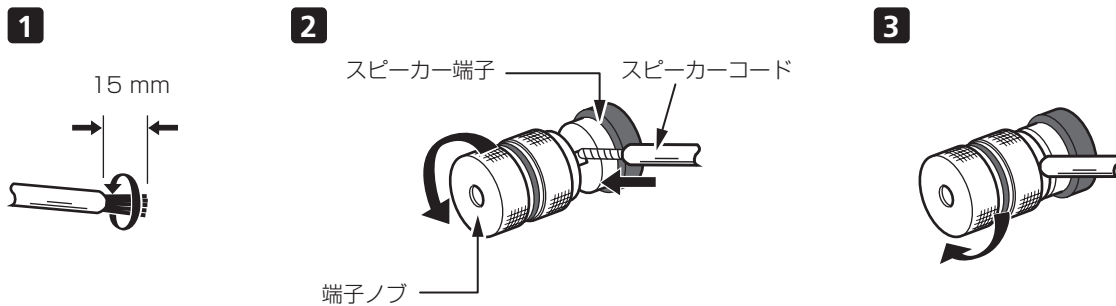
- スピーカー端子には、マイナス端子（-）とプラス端子（+）の極性があります。接続時には、TAD-M600のスピーカー端子とこれらの極性を必ず合わせて接続してください。
- インピーダンスが4Ω～16Ωのスピーカーをご使用ください。
- スピーカーコードは、電流容量の大きなものを使い、緩みやショートのないように確実に接続してください。電流容量の小さな接続コードを使ったり、接続が不完全な場合には、再生音に影響を与えたり、発熱やショートの原因となりますのでご注意ください。
- スピーカーコードを接続するときは、芯線をしっかりねじり、スピーカー端子からはみ出していないことを確認してください。芯線がリアパネルに接触したり、芯線どうしが接触すると、保護回路が働いて電源がオフになることがあります。
- スピーカー端子には非常に高い電圧が出力されます。感電の危険を避けるため、必ず電源コードを抜いてからスピーカーの接続を行ってください。

スピーカーシステムのつなぎかた

スピーカー端子のプラス端子（+）とTAD-M600のスピーカ端子（+）を接続します。
スピーカー端子のマイナス端子（-）とTAD-M600のスピーカーマイナス端子（-）を接続します。

スピーカーコードの接続方法

1. スピーカーコードの外側の被覆を約15mm取り除いてから、中の線をねじり束ねる。
2. スピーカー端子ノブを左側（←）に回して、緩める。
端子ノブがスライドし、すきまが開きます。
3. 開いたすきまにスピーカーコードの先端を差し込み、端子ノブを右側（→）へ回して締め付ける。



電源コードの接続

すべての接続が終了したら、電源コードを家庭用電源コンセント（AC 100 V）に接続します。

TAD-M600 の電源コードは極性管理されています。音質向上のため、極性を合わせることをお勧めします。下図のように電源プラグの・マークのある側を電源コンセントの幅の広い方（アース側）に合わせて差し込んでください。

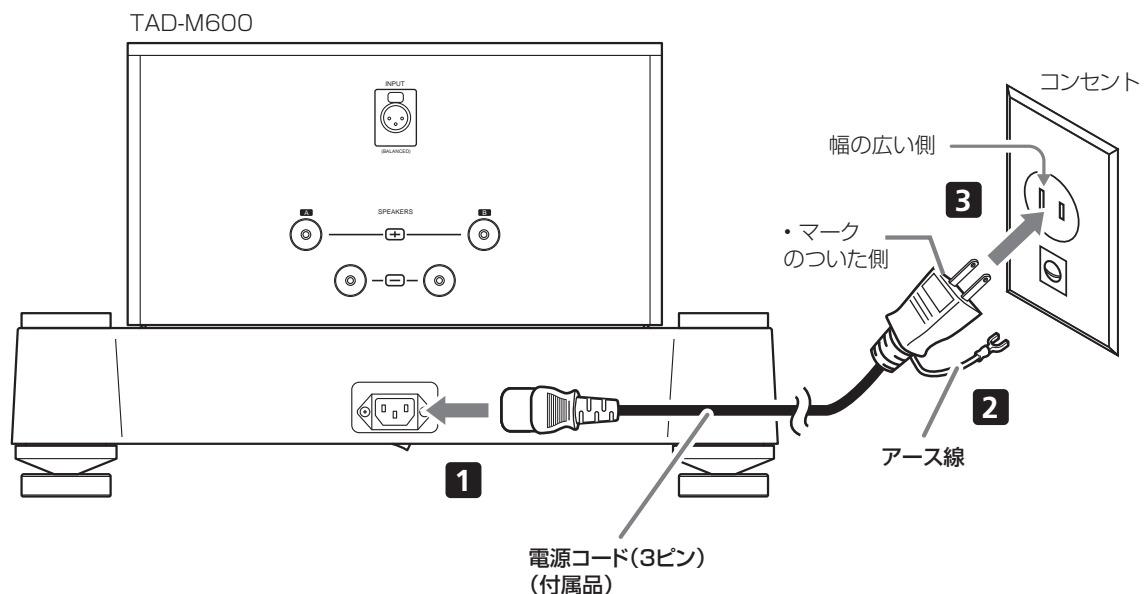


- TAD-M600 の電源コードは着脱式になっていますが、付属しているコード（電流容量 15 A、本機側 3P プラグインソケット方式）以外の電源コードはご使用にならないでください。
- アース線は、絶対に電源コンセントに挿入しないでください。
- アース接続は必ず、主電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行って下さい。

- 電源プラグをコンセントに接続し、電源スイッチをオンにすると TAD-M600 の電源が入ります。この際、8 秒間のミュートをを行います。ミュート動作中はインジケータが赤色に点灯します。黄色の点灯に変わると、TAD-M600 の演奏準備が完了です。
- 旅行などで長期間 TAD-M600 を使用しない場合は、必ず電源コンセントから電源プラグを抜いておいてください。
- 電源プラグを抜くときは必ず TAD-M600 の電源スイッチをオフにしてからプラグを抜いてください。

電源コードの接続方法

1. 付属の電源コードを TAD-M600 の AC IN 端子に接続する。
2. アース接続をする。
3. 壁のコンセント（AC 100 V）に接続する。



⚠ 注意

- TAD-M600 は消費電力が大きいので、十分な容量のある電源コンセントに接続してください。（容量の小さな電源コンセントに接続すると接続部が発熱する危険性があります。）
- 電源コンセントにアース端子がない場合は、販売店、工事業者等に工事を依頼してください。

演奏するには

電源を入れる前に

入力端子、出力端子が確実に接続されていることを確認してください。

演奏方法

1. プリアンプの音量調整 (VOLUME) つまみを最小の位置にする。
2. プリアンプの電源スイッチをオンにする。
3. TAD-M600 の電源スイッチをオンにする。
電源インジケータが赤色に約 8 秒間点灯したあと、黄色の点灯になると TAD-M600 は動作可能になります。
プリアンプの音量調整 (VOLUME) つまみで、音量を調整します。
4. 演奏を終えるときは、プリアンプの音量調整 (VOLUME) つまみを最小にし、プリアンプと TAD-M600 の電源スイッチをオフにする。

保護回路について

TAD-M600 には、アンプやスピーカーの損傷を防ぐため、(自動)保護回路が内蔵されています。保護回路が働いている間は、電源インジケータが赤色に点灯し、スピーカーからは音が出ません。保護回路が働くのは、次の場合となります。

- 電源投入 (ON) 時
起動時の雑音を消すため、ミュート回路が働き、8 秒間、インジケータが赤色に点灯します。
- 異常発生時
スピーカー端子のショートや過負荷、異常発熱等があった場合、インジケータが赤色に点灯し、保護回路が働きます。保護回路は、リセット型です。異常発生により、保護回路が働いた場合は、その原因を取り除いてから、一度電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。



音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら以下を調べてみてください。意外なミスが故障と思われがちです。また、本機以外が原因の場合も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気機器も、あわせてお調べください。以下の項目を調べても症状が直らない場合は、修理をご依頼ください。

症 状	原因と思われること	処 置
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグが電源コンセントから外れている。 ● TAD-M600の AC INLET から電源コードが外れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コンセントにプラグをしっかりと接続する。 ● AC INLET に電源コードをしっかりと接続する。
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● スピーカーコードが端子から外れているか正しく接続されていない。 ● 端子またはスピーカーコードのプラグが汚れている。 ● 電源インジケータが赤色に点灯している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● スピーカーコードをしっかりと接続する。 ● プラグと端子を清掃する。 ● 14 ページの保護回路についてを参照して原因を取り除く。

仕様

■アンプ部

定格出力	600 W (JEITA、20 Hz ~ 20 kHz、T.H.D.、0.2 %、4 Ω)
	300 W (JEITA、20 Hz ~ 20 kHz、T.H.D.、0.2 %、8 Ω)
定格歪率	0.03 %以下 (20 Hz ~ 20 KHz、300 W、4 Ω)
SN比(入力ショート、A ネットワーク)	125 dB以上
周波数特性	1 Hz ~ 100 kHz、 ± 0 ₁ dB
利得	29.5 dB
入力端子(感度 / インピーダンス)	1.5 V / 220 kΩ

■電源部・その他

電源電圧	AC 100 V、50 Hz /60 Hz
消費電力	520 W
外形寸法(幅 × 高さ × 奥行)	516 mm x 297 mm x 622 mm
	516 mm x 307 mm x 622 mm (スパイク受け装着時)
質量	90.0 kg

■付属品

電源コード	1
スパイク受け	4
スパイク受けテンプレート	1
六角レンチ	1
オーナーズクラブ登録カード	1
個人情報保護シール	1
保証書	1
取扱説明書(本書)	1

上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで、大切に保存してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。また、ご転居されたり、ご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、パイオニア修理受付センターにご相談ください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障かな？と思ったら」（15 ページ）の項目をご確認ください。それでも正常に動作しないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店へご依頼ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所：
- お名前：
- お電話番号：
- 製品名：モノラル パワーアンプ
- 型番：TAD-M600
- お買い上げ日：
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく具体的に）：
- 訪問ご希望日：
- ご自宅までの道順と目標（建物や公園など付近の目印）：

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本製品は家庭用オーディオ機器（オーディオ・ビデオ機器）です。下記の注意事項を守ってご使用ください。

1. 一般家庭用以外での使用（例：店舗などにおけるBGMを目的とした長時間使用、車両・船舶への搭載、屋外での使用など）はしないでください。
2. 音楽信号の再生を目的として設計されていますので、測定器の信号（連続波）などの増幅用には使用しないでください。
3. ハウリングで製品が故障する恐れがありますので、マイクロフォンを接続する場合はマイクロフォンをスピーカーに向けたり、音が歪むような大音量では使用しないでください。
4. スピーカーの許容入力を超えるような大音量で再生しないでください。

S26_Ja

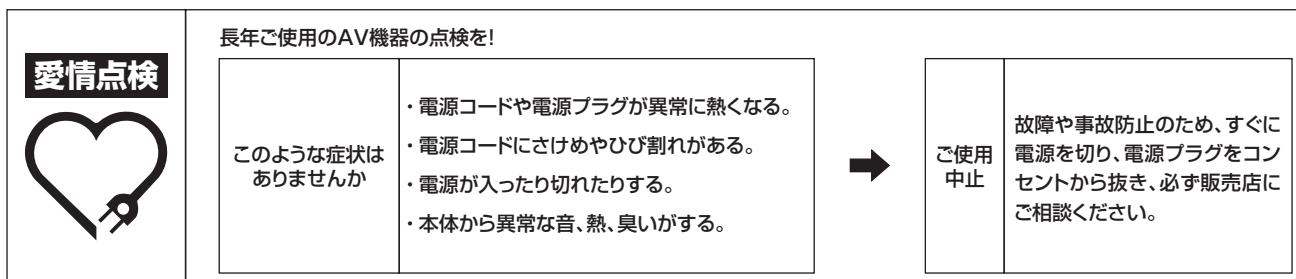
TAD-M600 を末永くご愛用いただくために、次のような場所には設置しないでください






- 直射日光のあたる所。
- 湿気の多い所や風通しの悪い所。
- 極端に暑い所や寒い所。
- 振動のある所。
- ホコリやタバコの煙の多い所。
- 油煙、蒸気、熱があたる所 (台所など)。



TAD-M600 のお手入れ

本機の清掃は、お手持ちのポリシングクロスでから拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を 5 ～ 6 倍に薄めた水に柔らかい布を浸し、よく絞ったあと、汚れを拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品を用いるとパネルの表面が侵されることがありますので使用しないでください。またスプレー式の殺虫剤などを TAD-M600 の近くでは使用しないでください。化学ぞうきん等をお使いの場合は、化学ぞうきん等に添付の注意事項をよくお読みください。



商品についてのご相談窓口	
● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について	
パイオニアカスタマーサポートセンター TAD相談窓口	
受付時間	月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・パイオニアカスタマーサポートセンター休業日は除く)
電話	 0120-995-823
ファックス	03-3490-5718

修理についてのご相談窓口	
修理をご依頼される場合は、取扱説明書をご覧ください。故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。	
● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合	
パイオニア修理受付センター	
受付時間	月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00 (パイオニア修理受付センター休業日は除く)
電話	 0120-5-81028 ※ PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。 一般電話 03-5496-2023 ※ 携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。
ファックス	 0120-5-81029

部品のご購入についてのご相談窓口	
● 部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について	
パイオニア部品受付センター	
受付時間	月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～18:00 (日曜・祝日・パイオニア部品受付センター休業日は除く)
電話	 0120-5-81095 ※ PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。 一般電話 0538-43-1161 ※ 携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。
ファックス	 0120-5-81096

インターネットホームページ
本書以外に下記ホームページもご覧ください。 http://tad-labs.com/support/

TAD

TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC.

© 2009 株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ
禁無断転載

JIS C 61000-3-2適合品

D50-5-10-1_A_Ja

株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ

〒153-8654 東京都目黒区目黒1-4-1
<http://tad-labs.com>